

令和 6 年度土地改良技術
近畿農政局管内国営事業外部技術者活用業務

報 告 書

令和 7 年 3 月



まえがき

- (1) **事業名：** 令和6年度土地改良技術近畿農政局管内国営事業外部技術者活用業務
- (2) **事業期間：** 令和6年8月 7日から令和7年3月24日まで
- (3) **事業目的：** 本業務は、近畿農政局管内の国営事業地区が抱えている課題に対し、外部技術者の視点や技術力等を活用しながら、即応的、機動的に課題の解決を図り、事業の適切かつ円滑な推進に寄与するとともに、農政局技術者の一層の技術力向上に資することを目的とする。

(4) **業務内容：**

1. 和歌山平野地区（新溝支線水路下流部）
 - (1) 外部技術者の選定
 - (2) 現地調査
 - (3) 施工計画、仮設計画の検討に係る課題と留意点の整理
 - (4) 設計業務打合せにおける指導・助言・検討結果の整理
 - (5) 施工時の留意点の整理
2. 東条川二期地区（曾根サイホン）
 - (1) 外部技術者の選定
 - (2) 現地調査
 - (3) 施工計画、仮設計画の検討に係る課題と留意点の整理
 - (4) 設計業務打合せにおける指導・助言・検討結果の整理
 - (5) 施工時の留意点の整理
3. 点検とりまとめ

(5) **成果物：** ①成果物の電子媒体（CD-R等）正副3部

不開示の電子媒体（CD-R等） 1部

②成果物の出力 3部（市販チューブファイル）

(6) 発注者： 農林水産省関東農政局土地改良技術事務所

総括監督員 平山 真大

主任監督員 田中 俊也

監督員 西谷 公佑

(7) 受注者： 

  

  

  

  

目 次

第1章 業務目的及び概要	1-1
第2章 【和歌山平野地区】新溝支線下流部建設に係る技術的課題の検討	
2.1 業務対象地区及び検討対象施設の概要	2-1
2.2 外部技術者の選定	2-3
2.3 施工計画等の検討に係る課題と留意点の整理	2-4
2.4 現地調査	
2.4.1 現地調査行程・参加者名簿	2-9
2.4.2 現地調査写真	2-12
2.4.3 現地調査時配布資料	2-13
2.4.4 現地調査後の外部技術者所見及び関係資料	2-50
2.5 設計業務打合せ	
2.5.1 第1回設計業務打合せ	2-62
2.5.2 第1回設計業務打合せ資料	2-64
2.5.3 第1回設計業務打合せ議事録	2-71
2.5.4 第1回設計業務打合せにおける検討結果	2-77
2.5.5 第2回設計業務打合せ	2-78
2.5.6 第2回設計業務打合せ資料	2-80
2.5.7 第2回設計業務打合せ議事録	2-105
2.5.8 第2回設計業務打合せの検討結果	2-107
2.6 施工時の留意点の整理	2-109
第3章 【東条川二期地区】曽根サイホン配管更新に係る技術的課題の検討	
3.1 業務対象地区及び検討対象施設の概要	3-1

3.2	外部技術者の選定	3-2
3.3	施工計画等の検討に係る課題と留意点の整理	3-3
3.4	現地調査	
3.4.1	現地調査行程・参加者名簿	3-4
3.4.2	現地調査写真	3-7
3.4.3	現地調査時配布資料	3-8
3.4.4	現地調査後の外部技術者所見	3-43
3.5	設計業務打合せ	
3.5.1	第1回設計業務打合せ	3-44
3.5.2	第1回設計業務打合せ議事録	3-46
3.5.3	第2回設計業務打合せ	3-48
3.5.4	第2回設計業務打合せ資料	3-50
3.5.5	第2回設計業務打合せ議事録	3-77
3.5.6	第2回設計業務打合せの検討結果	3-79
3.6	施工時の留意点の整理	3-81

(添付資料)

打合せ簿

第 1 章 業務目的及び概要

1.1 本業務の目的

本業務は、近畿農政局管内の国営事業地区が抱えている課題に対し、外部技術者の視点や技術力等を活用しながら、即応的、機動的に課題の解決を図り、事業の適切かつ円滑な推進に寄与するとともに、農政局技術者の一層の技術力向上に資することを目的とする。

1.2 業務の対象地区

本業務の対象地区は、国営農地防災事業和歌山平野地区、国営かんがい排水事業東条川二期地区である。

1.3 業務内容

表1.1.1 業務内容一覧

作業項目	作業内容	数量
1. 和歌山平野地区 (新溝支線水路下流部)	新溝支線水路下流部建設における施工計画、仮設計画に関する助言・指導を行う。	
(1) 外部技術者の選定	地区の検討内容を把握した上で、対象となる工事に知見を有する外部技術者を2名選定する。 なお、外部技術者は受注者が提案する候補者を基に発注者と協議のうえ決定する。	一式
(2) 現地調査	業務遂行に必要な現地調査を行う。	1回
(3) 施工計画、仮設計画の検討に係る課題と留意点の整理(1/2)	新溝支線水路下流部建設に関し、以下のことを考慮した施工計画、仮設計画に係る課題と留意点を整理する。 ・新設水路の接続を行う分水槽は、施工ヤードも限定され、既設農業用水管との接続や排水路が近接していること、掘削底面及び仮設鋼矢板根入れ部に泥質片岩(岩級区分CL級程度、軟岩Ⅰ相当)が存在することから、仮設計画(仮廻し計画、仮設土留計画)、施工計画(時期、手順)の検討が重要である。	一式
(4) 施工計画、仮設計画の検討に係る課題と留意点の整理(2/2)	・ボーリング調査時に自噴したため、被圧地下水対策が必要であり、仮設土留の施工方法、被圧地下水の処理、ボーリング対策、新設接続水槽及び樋門、樋管の施工計画の検討が重要である。	一式

作業項目	作業内容	数量
(5) 設計業務打合せにおける指導・助言・検討事項の整理	外部技術者（2名／対象施設）は、事業所発注業務打合せ（2回を予定）に出席し、設計業務受注者から提案された施工計画及び仮設計画（案）に対して指導・助言を行うとともに検討結果を整理する。	一式
(6) 施工時の留意点	上記（4）で整理した施工計画、仮設計画に対して、施工時の留意点を整理する。	一式
2. 東条川二期地区 （曽根サイホン）	3号幹線水路（曽根サイホン）（以下「曽根サイホン」という。）の傾斜配管部の改修における施工計画、仮設計画に関する助言・指導を行う。	
(1) 外部技術者の選定	地区の検討内容を把握した上で、対象となる工事に知見を有する外部技術者を2名選定する。 なお、外部技術者は受注者が提案する候補者を基に発注者と協議の上決定する。	一式
(2) 現地調査	業務遂行に必要な現地調査を行う。	1回
(3) 施工計画、仮設計画の検討に係る課題と留意点の整理	曽根サイホンの傾斜配管部の改修に関し、以下のことを考慮した施工計画、仮設計画に係る課題と留意点を整理する。 ・現況の曽根サイホンの傾斜配管は、斜度33°程度の傾斜面に設置されていること、改修は鋼管を採用して現位置で更新を行うことから、仮設計画（資機材運搬計画）、施工計画（施工手順）の検討が重要である。	一式
(4) 設計業務打合せにおける指導・助言・検討事項の整理	外部技術者（2名／対象施設）は、事業所発注業務の打合せ（2回を予定）に出席し、設計業務受注者から提案された施工計画及び仮設計画（案）に対して指導・助言を行うとともに検討結果を整理する。	一式
(5) 施工時の留意点	上記（4）で整理した施工計画、仮設計画に対して、施工時の留意点を整理する。	一式
3. 点検・とりまとめ	各作業における成果物について点検・とりまとめを行い、業務報告書を作成する。	一式

1.4 業務の工期

本業務の工期は以下のとおりである。

令和6年8月 7日 ～令和7年3月24日

1.5 業務の契約金額

本業務の契約金額は、当初： XXXXXXXXXX（税込み）である。

1.6 業務の成果物

成果物として以下のものを提出する。

- (1) 成果物の電子媒体 (CD-R 等) 3 部

この他、この成果物に含まれる「行政機関の保有する情報公開に関する法律」に基づく「不開示情報」に該当する情報について、その箇所を黒塗りにする措置を行い、別途、電子媒体（ＣＤ－Ｒ等）による公開用成果物（案）として１部提出する。

- (2) 成果物の出力 3部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じ）

1.7 实施体制

管理技術者：■■■ ■■■

担当技術者： XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX

[REDACTED]